

日本武尊

(やまとたけるのみこと)



英雄日本武尊の東国平定の物語です。
日本武尊が相手の懷に呼び込まれてから反撃するシーンは見ものです。
また、尊が女装をして熊襲の首長を討ち取る「熊襲」も人気演目の一つです。

～あらすじ～

九州の熊襲(くまそ)を倒した日本武尊は、父景行天皇に休む間もなく東国の平定を命じられ、すぐに出発します。途中で伊勢の宮に参拝し、叔母の倭姫命に会い天叢雲剣を賜ります。

東国に向かった日本武尊は、敵に広い野原に誘い込まれ、八方より火を放たれますが、天叢雲剣で草を薙ぎ払い敵を退治します。

その剣は草薙の剣(くさなぎのけん)と名を改められたと言い伝えられています。